

大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

【履修管理システム】

博士課程 : <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程 : <http://mst.juntendo.ac.jp/>

認定科目

【博士課程】

Current Topics ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

【修士課程(医科学コース)】

選択科目「**大学院セミナー**」

第30回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：HBOCの分子遺伝学 —BRCA機能、発がん及び合成致死療法—

2021年

7月28日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介:三木 義男先生

(東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子遺伝分野 教授)

座長:岡崎康司(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会:新井正美(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要：ゲノム安定性は、DNA損傷応答とDNA修復機構によって厳密に制御されている。その破綻により、正常細胞が悪性形質転換し、さらに、がんの浸潤・転移が進行する。25年前にBRCA1・BRCA2と乳がん・卵巣がん発症との関連が初めて実証され、以後、基礎的・臨床的研究が進み、BRCA1/2が相同組み換え修復機能等の多機能を発揮すること、これら遺伝子の生殖細胞系列変異は、多種のがんの発症リスク増加に関与していること等が明らかになった。加えて、PARP阻害剤がBRCA1/2変異乳がん・卵巣がんのDNA損傷応答を標的とした抗がん剤として初めて承認され、現在、前立腺がん、すい臓がんにも使用が認められている。このような最近のHBOC臨床的進歩の背景にある分子基盤について紹介する。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/WcSFxSATinkwCmQK9>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

7月27日 (火) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場でのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

新井/原田 (内線71407/5167)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

